異なる視点論点㉑（2024 年 11 月 4 日）

「深圳事件」と日中関係の最新動向

暫く「参考消息」をお届けせず、筆が錆びかけたことをお詫びします。何度か書きかけたが、情勢とホットトピックスの目まぐるしい変化に追い抜かれ、また筆を置いてしまったことは二三度あった。今年の内外情勢の移り変わりは実に早いものだ。しかし、ここで書かないと、アメリカの大統領選、米中・日中の首脳会談後になっては、また「昔日黄花」（過去のもの）になるかもしれない。よってここでは 9 月に起きた「深圳事件」に関して、入手できた資料と情報に基づいて事実を再検証し、ほかには日中関係関連の注目記事も取り上げ、併せて解説する。

一　「深圳の人殺し」細部の再確認

9 月 18 日早朝 8 時前後、母親に連れられて日本人学校に向かう途中の子が残酷に刺され、死亡した。「満州事変」の記念日に発生し、「日本人学校」との関連、その二か月前、蘇州で日本人生徒を載せたスクールバスが襲われた事件もあった、といった一連の「ファクター」が重なり、日本のメディアではほぼ一斉に「日本人学校の子供を狙ったもの」「反日教育の結果」と報じられ、中国駐在日本企業関係者の引き上げの話まで出て、「日本人を敵視する中国が怖い」のイメージが大半の日本人の脳裏に今でも残っていると思う。

ただ冷静に事件の過程を検証すれば、悔しい、重苦しい凶悪事件だが、政治や「反日教育」「日本人学校を狙ったもの」との説とはかなり異なるものだったことが明らかになっている。

現地警察側が直後に行った説明は以下の通り。

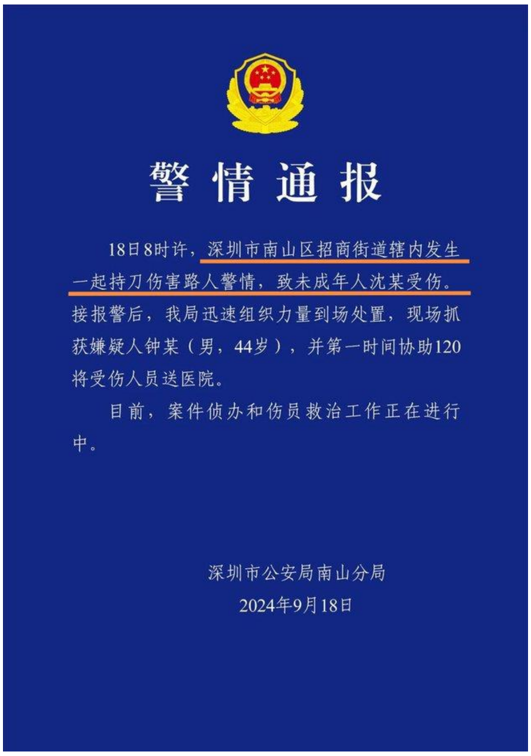
① 深圳 10 岁日籍学生被刺去世，嫌疑人已刑拘！警方介绍案件详情_澎湃新闻 240920

父親が日本国籍、母親が中国国籍である男の子（日本国籍）が歩行で日本人学校に向かう途中、学校までまだ 200 メートル余り離れた場所で刺され、救急治療を行ったが、翌日早朝に死亡が確認された。犯行者はこれまで 2 度も犯罪で拘束された前科者で、単独犯行を認めた。

また、現地警察が事件当日中に発表した「警情通報」によると、殺害された子は「沈」という苗字だった（右頁上の写真参照）。

中国側の発表と比較して、日本の多くの報道の結論に幾分か飛躍が感じられる。朝の通勤時間帯で日本人学校に向かって学校までまだ距離がある途中であ

り、犯行者はあらかじめ、中国語で話し合うこの母子が日本人学校に向かっていること、その子が日本人であることをどうやって知るのか。その説明がないまま、「日本人学校の生徒を狙った」ものと断定してよいのか。



警情通报

18日8时许，深圳市南山区招商街道辖内发生一起持刀伤害路人警情，致未成年人沈某受伤。接报警后，我局迅速组织力量到场处置，现场抓获嫌疑人钟某（男，44岁），并第一时间协助120将受伤人员送医院。

目前，案件侦办和伤员救治工作正在进行中。

深圳市公安局南山分局

2024年9月18日

残念な事実だが、中国各地では、コロナ後、少なからぬ人の生活状況は芳ばしくなく、それも一因で殺傷案件が多発している（日本でも最近、「生活が苦しいから強盗事件が多発」）。3 月には東北部でアメリカ人が襲われ、最近、北京でも子供に対する無差別殺人事件が起きた。その状況を把握している中央政府は危機感を募らせ、ちょうど深圳事件直前の 9 月 16 日、北京で犯罪対策緊急会議を開き、中央政治局委員・「政法委」書記が「全国各地で凶悪事件・マフィア一掃を」と呼びかけたところだ。

② 党中央统一部署，扫黑除恶常态化中央督导即将开展 (qq.com)240917

その意味で、深圳事件の背後に、社会状況が映り出されたことは言えるが、日本国内の報道はあまりにも「日本向け」を意識しすぎたこと、何でも「反日教育」とリンクすることに問題がないのかと考えさせられる。

その後も、以上に紹介した事件の経過の再検証がほとんどなく、深圳事件の「動機解明」を中国側に求める声が続いているが、読売新聞は独自の取材で「犯行者は就職口が見つからず、社会に対する不満を抱いた」と突き止めた「動機」を報じている。ここまでは多分真実だと思う。しかし記事の続きに、犯行者は世間をあっと驚かせることを起こすため、日本人殺害を考え、日本人学校を調べたと書いているが、脚色しすぎたではないか。

前述の通り、犯行現場は、被害者が向かう途中で、日本人学校までまだ距離があること（下校時に校門から出たところなら別だが）、親子は中国語で話していたこと、刺された後も母親は中国語で絶叫していた。

実際に、ある在日中国人外交官はこう話した。「この子の父親は日本人、母親は中国人、いわば日中両国の共通の子供だ。共に心を痛め、再発防止に努めるべきだが、これ以上日中感情を引き裂くべきではない」。

事件直後、この子の父親が書いたとされる文書は中国のネットで広がり、「（自分の子）K は日本人であり、中国人でもある。自分は中国で人生の半分近くを過ごした日本人」「我々は中国を憎まないし、日本も憎まない」「唯一の願いはこのような悲劇が二度と起こらないこと」といった内容が含まれた。この文書は中国で大きな感動を呼び、「この日本人父親はえらい」との称賛が殺到し、一部の日本を敵視・歪曲する人への非難にもつながったが、この文書が偽造だと決めつける人は結構いた。それに対し、ルポ作家安田氏が次の検証記事を書き、本物と推定した。記事の後半は事件の背景と経過も検証しており、全部賛同ではないが、一読する価値がある。

③ 《深圳・日本人学校 10 歳男児死亡事件》中国政府発表を肯定する父親の「感動の手紙」仰天背景 ｜ 文春オンライン (bunshun.jp)

中国でもこの犯行に対する批判が強い。現地では殺害現場に多くの市民が献花した。深圳同地区の NGO「蛇口社区基金会」は「今日、蛇口人として我々は恥ずかしく憤る」との声明を発表した。

④ 深圳日童遇襲｜蛇口社區基金會：我們感到羞憤！ (stheadline.com)240919

一方、今回の事件を中国政府が進めてきた「愛国主義教育」「憎しみを煽る教育」とリンクした批判に対し、中国で人気度が高いネットメディア「観察者」は異論を呈した。

⑤ 深圳日童被襲｜內地媒體評論：把責任推到「仇恨輿論」與「愛國教育」是轉移焦點 (stheadline.com)240920

日本国籍の子が死亡したのは非常に悲しいニュースだ。このような悪質な犯罪のためのいかなる言い訳も受け入れられない。

事件の発生後、中国のネットメディアは比較的一致した非難態度を表明した。しかし、一部の人は意図的か無意識か、「憎しみを煽る宣伝」に責任を押しつけ、ひいては中国の愛国主義教育に責任を押し付けているが、これは往々にして世論の焦点をずらす破壊的な効果を生んでいる。

ちなみに、数人の日本人友人は自分の見方を伝えてくれた。

K 氏：

確かに偶発的な個別事案である。反日感情から日本人をターゲットにして犯行に及んだとの背景や動機からではない。

本事案が政治問題化せず、収束、終息することを願います。

もう一人 N 氏は匿名で以下の検証記事を書いている。ぜひ目を通してほしい。

⑥ Peace Philosophy Centre: 深センの日本人学校生徒殺害事件：被害に遭

ったのは日本人でもあり中国人でもある「沈」さんという男の子 The victim of the murder of a Japanese school student in Shenzhen is half-Japanese and half-Chinese whose family name is reported as 沈(Shen)240924

文中に次のような一文が入っている。

中国人でもあり日本人でもあるミックスの子を「日本人が殺された！」と大騒ぎするのは、逆にこの子の半分である中国人アイデンティティを完全に無視していることになり、「中国人なら殺されても無視していい」って言ってるのと同じですよ。命の選別とも言っていい。このことを受けて、複数のアイデンティティを持つ子たちがどれだけ動揺して、大人への信頼を失っているかと思う。

しかし今回の事件と直接的な関係がなくても、中国のネット世論において日本バッシングの言論が蔓延していたのは事実だ。政府当局はこれまで、SNS で発生する過激、極端な言論に規制を行った（日本ではほとんど、「言論自由の封鎖」のアングルで報じられた）が、極端な反日、仇日のネット言論に照準を合わせた取り締まりはなかった。6 月末の蘇州事件と今回の深圳事件を機に、ネット上の日本に関する極端な、事実に反した言論が主要サイトで一斉に取り締まられ始めている。

⑦ 苏州高新区持刀伤人事件后 多家社交平台发文治理极端言论_240630 财新网 (caixin.com)

この記事の全文閲覧は有料だが、無料でアクセスできる全文掲載の記事は以下の通り。

⑧ 腾讯抖音网易百度等齐出手：打击挑动极端民族主义、炮制极端言论行为_240630 澎湃新闻

要旨：

〇各 SNS プラットフォームは、中央サイバースペース局の、一部の自媒体（セルフメディア？）のアクセス量を増やすために手段を選ばぬ「底なし」のやり方に関し、プラットフォームの情報コンテンツ管理の「主体的責任」を履行するため、ただちに特別検査を開始した（このくだりは今回の一斉取り締まりは中央政府の指示によるものとほのめかしている）。

〇TIKTOK は、極度の外国人排斥の主張や、（蘇州事件の）スクールバスのスタッフが「日本のスパイ」との中傷的な発言を載せた「Hoe*Team」、「Jian*Shifu」、「Born*Lan」、「Fengtunlov*Shi」、「Jimu*View」など「重大な規則違反」アカウントを多数閉鎖したと公表。

〇テンセントは日中の対立と極端なナショナリズムを煽り、過激な事実に反した発言を載せた違法アカウント 61 個を閉鎖し、合計 836 件の関連違法コンテンツを処分したと発表。

○百度（Baidu）は、関連の悪質アカウントを処罰し、合計 338 件の関連有害情報を廃棄したことと今後の対策を発表。
○網易（NetEase）も関連の極端言論に対し、「集中管理」を行い、警告削除、期限付き掲載禁止、アカウントブロック等の処分措置を講じたことと、今後も対策状況を定期的に公表することを発表。
○「B 站」サイトも当日まで、503 件の関連違法コンテンツを処分し、10 個のアカウントを閉鎖したことと、今後も「憎しみや人種差別などを助長する過激な発言やアカウントについて、規則違反が見つかり次第、削除、期限付きアカウント停止と永久停止、関連部門への報告」などの対策を講じる」と発表。

「日本鬼子」など現在の日本人に対する差別用語も中国のネットでブロックされるようになったと聞いている。深圳事件後、更に「日中対立を煽った」などを理由に、「短視頻」（ショートムービー）の 90 以上のアカウントが閉鎖された。
⑨ 涉煽动中日対立　快手封禁逾 90 违规账号 東方網 240921

二　相互理解の盲点はどこにあるか

今回の事件をめぐる各自の反応から、いくつかの「すれ違い」が浮上し、改善すべき点も見えてきた。
中国外交部報道官は、事件発生直後の記者会見でこれを「個別事案」と呼んだ。前述の「警情通報」を読めば確かに通り魔的犯罪と言えるが、続いて「世界のどこでも起きること」と発言したのは蛇足だろう。6 月の蘇州案件があり、日本国籍の子であることも確認した以上、日本的感覚ではまず追悼の意と真相究明を表明すべきだった。この蛇足発言が日本でかなり違和感を持たれ、反発を受けた模様だ。
その後、中国側はおそらく日本側のリアクションに気づき、呉江浩大使は国慶節レセプションのスピーチでもわざわざ次のように言及した。
① **中華人民共和国成立 75 周年レセプションにおける呉江浩大使挨拶_中華人民共和国駐日本国大使館（china-embassy.gov.cn）240927**
我々は先日深センで起きた児童襲撃事件に心を痛め、不幸にして亡くなられた子供に深い哀悼の意を表します。中国側は法に基づいて事件を捜査、審理し、いかなる形の暴力犯罪行為にも断固として取り締まります。中日双方は冷静を以ってこの件を善処し、引き続き有効な措置を講じて相手国の国民の安全を保障し、同時に揺るぐことなく交流を強化し、理解を増進し、中日関係の健全かつ安定な発展のために民意の基盤を固めなければなりません。

そして突発事件に関して日本や欧米諸国の通常のやり方は、迅速に事実の細

部を公表することだ。中国は常に「正確な発表」を期するが、責任感あるやり方だが、時間がかかる。説明はタイミング的に遅れれば、たとえ「正確」であっても、すでに先入観が形成されており、それをカバーすることが難しい。

ネット時代における情報の伝え方、民衆感情の形成経路はすでに変容しており、その新しい特徴を認識することも必要だろう。ネット社会では少数者の言論が社会全体に大きな影響を及ぼすこと、一部は極端な言動でポピュラーに迎合して金稼ぎを図っている現象は全世界で問題になっている。

これに関し、日中両国で最近、ネット世論を悪用する事例がそれぞれ典型的に現れている。

一件は靖国神社で落書きをし、ネット名人になることを狙ったが、前科者で別犯罪容疑で杭州で逮捕されたこと。

② 曾在靖國神社塗鴉便溺爆爭議 陸網紅鐵頭涉敲詐勒索遭逮捕 - 240827 中時新聞網 (chinatimes.com)

今年6月に靖国神社で落書きをした中国のネット名人「鉄頭」は8月後半、恐喝の容疑で浙江省杭州市公安局濱江区分局に逮捕された。

実名董光明の容疑者のネット名は「鉄頭懲悪揚善」で、昨年から海南三亜海鮮市場の混乱、高齢者健康食品詐欺など「商業偽摘発」の短い動画を集中的に発表し、わずか数ヶ月で急速に数百万人のファンを集めた。その後、彼は過去に、カジノ開設、不法拘禁などの罪で有罪判決を受けて投獄された歴史が明らかになった。ネット上で買春経験を公開したとして通報され、そのネットアカウントも禁止された経緯がある。

もう一件は、日本の反中的雰囲気の中で在日、来日中国人を苛めてネットでのアクセス数を増やす人のことだが、こっちも前科者で、そのやり方はほかの日本人から「日本の恥」と非難された。

③ 日網紅多次碰瓷中國遊客博取流量 遭媒體批評「日本恥辱」 -241006 中時新聞網 (chinatimes.com)

台湾紙によると、原田〇〇という人物は、中国人観光客夫婦が奈良公園の鹿を苛めたと主張する動画を再度アップし、強い口調で相手に向かって咆哮したこの動画の再生回数は2000万人を超え、多くの日本人も追随して中国人夫婦を罵倒した。

しかしよく見ると、苛める行為ではなく、日本の永住権を持っているこの中国人夫婦は事件後、非常にがっかりし、中国人の友人に奈良への旅行を控えるようネットで助言した。

日本メディアの報道によると、すべての日本人がこのネット有名人を信じているわけではなく、コメント欄に、彼を「日本の恥」と書く人もいた。彼は何度も動画

を撮って中国人観光客が鹿を虐待していると罵倒したが、多くの動画には観光客が過激な行為をしたとは見られず、多くの日本人は彼が外国人差別を利用してお金を稼いでいるだけだと指摘した。

　また、このネット有名人は窃盗罪と営業妨害罪で懲役 1 年 6 カ月、執行猶予 4 年の判決を受けたことがあり、前科のある人物であることも暴露された。

日中間の民間感情はすでに深刻な問題があるうえ、更にこのようなネットでの煽りによっていっそう険悪になる。両国の良識者はもっと健全な声を発すべきだ。

一縷の光と言えば、最近の日中政府間の相互接近の動きだ。9 月後半、自民党総裁選のさなか、日中両国政府は、中国が福島第一原発の処理汚染水放出に伴い、日本産水産物の全面輸入停止に踏み切った 1 年前の対立をめぐって、日本側は国際原子力機関の枠組みの中での長期的な国際モニタリング体制を構築し、中国が独自に処理水のサンプル採取を行って分析するなどの要求をほぼ受け入れ、一方の中国は段階的に日本海産物の輸入停止を解除していくで合意した。

石破内閣の成立後、習近平国家主席からさっそく祝電が送られた。10 月 10 日、ラオスで開かれた東アジアサミットの際、石破首相は李強首相と初会談した。

④　石破首相が「政治の師」として田中角栄氏の言葉を紹介　日中首脳会談 241010 毎日新聞 (mainichi.jp)

この会談では石破首相は中国人の尊敬する角栄氏に自ら触れて、「国交正常化を成し遂げた私の政治の師であり、私の政界入りを後押しした田中元首相は、『日中両国の指導者が明日のために話し合うことが重要だ』と述べた」と伝えられている。これを受けて、中国側も石破氏に積極的に対応した。以下の中国側の報道からは前向きな姿勢が見て取れた。

⑤ 李强会见日本首相石破茂--241010 人民网 (people.com.cn)

11 月に入って、内閣特別顧問で国家安全保障局長の秋葉剛男氏が訪中し、王毅外相と会談した。北朝鮮軍人のロシア派遣が重要な協議テーマになったようだが、11 月中旬にペルーで開かれる APEC の場を借りて習近平主席との首脳会談が実現する見通しになった。

⑥ 中日高级别政治对话在京举行--241104 人民网 (people.com.cn)

続いて、12 月に岩屋外相が訪中すると見られている。中国去年から、フランス、ドイツ、イタリア、スイスなどヨーロッパ主要国と、東南アジアなど 20 カ国以上に対してノービザ入国の措置を発表したが、11 月 1 日、1992 年の国交樹立以来初めてとなる韓国(とほかのヨーロッパ 8 か国)に対する 15 日ノービザ入国を許可した。

⑦ **中国がビザ免除対象国を拡大、韓国人のビザなし入国を初めて許可…日本は対象外（朝鮮日報日本語版）241102**

この趨勢と日中の改善の気運から見て、12 月の岩屋外相の訪中に合わせて中国側は日本人の訪中に対する 15 日間ノービザの再開も発表する可能性が大きい。日中政府間の対話とともに、民間交流の拡大で相互理解を深め、心理的距離を縮めてほしい。

三　余波と余談

日中関係は自ら抱える諸問題に加え、米国によるライバル（中国）突き落とし戦略（誰が次期米大統領になっても変わらない）の影響もあり、過分に楽観視はできない。ただ、中国が石破内閣（長命かどうかと関係なく）と関係改善したい意欲はすでに様々な動向によって示されている。党人派系譜で対米中の「対等」を重視する石破首相も対米、対中の同時推進に取り組んでいるようで、ある程度期待したい。

この余談の部分ではここ半年間に収録した日中関係の「読む価値あると思う」記事を紹介したい。

① **中国への信頼度上昇のなぜ？日本の報道だけでは見えてこない世界の現実 - 240411 まぐまぐニュース！ (mag2.com)**

アセアン 10 カ国のオピニオンリーダーに対するアンケート調査で、中国に対する信頼度は初めてアメリカを超えた結果を紹介・分析されている。

> 「中国か米国のいずれかと同盟を結ぶことを余儀なくされた場合、どちらの国を選択するか？」という設問だ。結果、「中国を選ぶべき」と回答した割合が 50.5%と半数を超え、初めて「アメリカ」（49.5%）を上回った。
>
> 米中の差は僅かに感じられるが、問題は中国の伸びだ。前回調査（2023 年公表）で「中国」と回答した割合は 38.9%しかなかったのだ。つまり 1 年で 11.6 ポイントも上昇している。

そう言えば、アセアン 10 カ国の世論調査で、22 年以降、中国を最重要パートナーと選ぶ比率も戦後初めて日本を上回った。

② **ASEAN における対日世論調査、今後の重要なパートナーで日本は中国に次ぐ 2 位に低下-220603 ジェトロ (jetro.go.jp)**

この調査結果を受けて、次の分析記事が出ていた。

④ **「ASEAN は親日」という幻想を打ち砕く中国の攻勢 デジタルに続き EV でも日本企業は出遅れる恐れ | 220711 東洋経済オンライン (toyokeizai.net)**

中国側が発表したアンケート調査の結果だが、アセアンを含め、世界の大半の地域の対中好感度は 24 年現在、23 年よりも上昇している。

③ 対中好感度は引き続き上昇＝CGTN 世論調査_中華網日本語版(china.com)240929

一方、最近の米国内の世論調査によると、45%の有権者は自国の政治体制は一般民衆をよく代表していないと答え、四分の三の有権者は民主主義は「脅威にさらされている」と考えており、58%の有権者は自国の金融と政治システムは「大幅に、あるいは徹底した改革が必要」と答えている。

④ Voters Are Deeply Skeptical About the Health of American Democracy - The New York Times (nytimes.com)241027

その中文と英文の対訳は以下の通り。

⑤ 美国民主还好吗？美国人不乐观 - 241028 纽约时报中文网 (nytimes.com)

アメリカも中国も日本もそれぞれ多くの国内問題と国民の不満を抱えている。各国の「国情」と発展段階の差異もあり、他国の政治体制をとやかく言って優劣を言うのは生産的ではない。

8 月 19 日、NHK ラジオの中国語ニュース番組で、中国人アナウンサーは突然、脚本から離れて、「釣魚島は古来より中国領」「NHK の歴史修正主義などに抗議する」「南京大虐殺を忘れるな」などと約 22 秒間、中国語、英語で自分の見解を発言した。職員として職責を離脱したことは正当化できない。一方、日本での長年のキャリアをすべて犠牲にする覚悟で行った彼の発言について、日本では「動機究明」の動きはほとんどなく、特に本人に直接に取材して報道することは見当たらない。

それに関して、中国メディア「北京日報」では彼本人に対する以下の詳細のインタビュー記事が出ている。翻訳しないが、関心ある方はご自身で読んでください。

⑥ 震惊日本的 22 秒里，发生了什么？ (qq.com)240923

たまたま読んだ伊藤正義に関する紹介記事で、日米、日中の両方とも日本外交の基軸との持論は今日でも示唆的と感じ、ここで紹介する。

⑦ **コラム：亜州・中国（22）伊東正義・元外相の持論「外交の基軸は日米・日中」と政治家人生 |240520 nippon.com**

東洋の国同士では、表向きの「玄関外交」とともに、「裏口外交」で意思疎通し、阿吽の呼吸を見出すことも極めて必要だ。これまで松村謙三、伊藤正義、後藤田正治（靖国神社参拝をめぐる日中間の暗黙の了解を取り付けた方）、野中広務、二階俊博

などがそれぞれの時代に貴重な「パイプ役」を務めたが、これから誰に期待したらいいだろうか。

最後になるが、長年の友人李年古氏は 23 年 12 月より、10 億人以上の中国人が使う「微信（WeChat)」で「如何与日本人打交道——你有所不知的日本人真相」（どのように日本人と付き合うか——あなたの知らない日本人の真実）を題とする「公衆号（公式アカウント)」を開設した。自分が読む中で、一番深く分析・探究していると感じ、頷くものも多いので、その最新号を紹介しておく。新しい日中文化比較論者の誕生を期待したい。

⑧ 为什么说日本人的竞争观和中国人有天壤之别？ (qq.com)240814

（了）